



山野修作 (Gt.)



村田浩 (Tp.)



林正樹 (Pf.)



akiko (Vo.)

山野修作 presents

a variety of

JAZZ

ジャズのスタンダードやオリジナルを、伝統的なハードバップスタイルから現代的なスタイルまで幅広くアレンジし、ギターを中心にボーカル・トランペット・ピアノ・ウッドベース・ドラムと様々な編成でおおくりします。

出演

山野修作 (Gt.) 丹羽肇 (Ba.) 香月宏文 (Ds.)

Special Guest

akiko (Vo.) 村田浩 (Tp.) 林正樹 (Pf.)

※やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。

福岡公演

2021年

12月22日(水) 開場18:30 / 開演19:00

電気ビル・みらいホール

前売5,000円 (当日5,500円) 消費税込み [全席自由]

※学生無料:事前にヨランダオフィスへ申込み。中学生以上は当日学生証提示

北九州公演

2021年

12月23日(木) 開場18:30 / 開演19:00

黒崎ひびしんホール (中ホール)

前売5,000円 (当日5,500円) 消費税込み [全席自由]

※学生無料:事前にヨランダオフィスへ申込み。中学生以上は当日学生証提示

★必ずマスク着用で御来場の上、感染予防対策にご協力ください。
★御来場前にホームページで最新情報をご確認ください。

チケット取扱

- ・ヨランダオフィス・チケットセンター (10:00~18:00)
TEL:0570-033-337(ナビダイヤル) / 092-406-1771
- ・チケットぴあ……………Pコード: 206-288 ※セブンイレブンでも購入可
- ・ローソンチケット……………Lコード: 81970 ※ローソン、ミニストップでも購入可
- ・黒崎ひびしんホール(北九州公演のみ) TEL:093-621-4566(9:00~21:00)



主催: LOVE FM、SHOOZZ
協力: ヨランダオフィス

◎お問合せ:ヨランダオフィス・チケットセンター (10:00~18:00) TEL:0570-033-337(ナビダイヤル) / 092-406-1771

山野修作 presents

a variety of

JAZZ



山野 修作 (Gt.)

福岡市生まれ。

15歳から独学でギターを弾き始める。

2003年 NYに渡りジャズギター界の巨匠ジョン・アバークロムビーらに師事。

世界的なドラマーのビル・スチュアートらとNYで3枚のCDを製作。

NYのトップミュージシャンであるアダム・バーンバウム(ピアノ)、マッド・クローシー(ベース)、マーク・ファーバー(ドラム)らとホールコンサートなどを含む全国ツアーを継続して行っている。

ジャズギター専門誌でもインタビューを掲載され、日本のジャズギタリスト100人にも選ばれるなど高く評価される。伝統的なジャズギターサウンドでありながら、現代的な面も加味したプレイスタイルが特徴。



Special Guest

akiko (Vo.)

2001年、名門ジャズレーベル「ヴァーヴ」初の日本人女性シンガーとしてユニバーサルミュージックよりデビュー。

既存のジャズの枠に捕われぬ幅広い表現で現在までに23枚のアルバムを発表、国内外で活動を展開する。

これまでに「ジャズ・ディスク大賞」や「Billboard Japan Music Award」を始め、数々のミュージックアワードを受賞。

2003年にはエスティー・ローダーより日本人女性に送られる美の賞「ディファイニング・ビューティ・アワード」を授与される。

また音楽以外にもファッション方面のコラボレーションやプロデュース、選曲、執筆など、活動は多岐に渡り、声を使ったボイス・ワークショップや子供のためのジャズワークショップの他に、アーユルヴェーダワークショップやリトリートツアーなども開催している。

現在、デビュー20周年を記念したウクレレ弾き語りアルバム『Ukulele Lady』が好評発売中。

音楽性やファッション性のみならず、そのライフ・スタイルにも多く支持が集まる。



Special Guest

村田浩 (Tp.)

トランペッター

1943年 横浜市生まれ

1975年自己のTHE BOP BAND 結成以来46年間国内唯一のハードバップスタイルのクインテットとして全国的にライブ・コンサートを続け、安定した人気を保っている。

ジョン・ルイス(ピアノ)・ヘレン・メリル(ボーカル)他、海外からのジャズレジェンドとの共演も多数。

リーダーアルバムも多数制作好評を得ている。



Special Guest

林正樹 (Pf.)

ピアニスト、作曲家。自作曲を中心とするソロでの演奏や、生音でのアンサンブルをコンセプトとした「間を奏でる」などのプロジェクトの他に、小野リサ、マレー飛鳥、徳澤青弦、藤本一馬、akikoなど様々な音楽家とアコースティックな演奏活動を行なっている。

「渡辺貞夫クインテット」「Banksia Trio」「菊地成孔とベベ・トルメント・アスカラール」「クアトロシエントス」などのグループにも在籍。

多種多様な音楽的要素を内包した、独自の諸謔を孕んだ静的なソングライティングと繊細な演奏が高次で融合するスタイルは、国内外で高い評価を獲得している。

三宅純、椎名林檎をはじめ多岐に渡るアーティストのスタジオワークにも数多く参加。作曲家としては2016年舞台「書く女」(主演:黒木華 / 作,演出:永井愛)、2017年舞台「オーランドー」(主演:多部未華子/演出:白井晃)、2021年公開の映画「すばらしき世界」(監督,脚本:西川美和、主演:役所広司)の音楽を担当。



丹羽肇 (Ba.)

長崎県生まれ。

1992年にはNHKのコンテストで優勝しベストプレイヤー賞を受賞。

コントラバスを吉浦勝喜氏(九州交響楽団)、藤井良子氏に師事。

2010年に初リーダーアルバム「THE SONG OF STRINGS」

現在は福岡を拠点に九州をはじめ関西、関東、東北、札幌等でのライブ活動を行う。また多くのCDのレコーディングにも参加する。そして国内外のミュージシャンの九州ツアーに参加。

編曲作も数多く、コントラバスアンサンブル「フレンズ」や読売日本交響楽団コントラバスセクションに提供する。

2018年には秋山和慶指揮九州交響楽団に「A列車で行こう」を提供。



香月宏文 (Ds.)

香月宏文(Drums)1977年宮崎県生まれ。高校卒業後、留学をきっかけに本格的にドラムを始める。

2001年にアメリカ、ボストンのパークリー音大に奨学生として入学。

2004年卒業後、NYで活動しAri Hoenig(アリ・ホニック)に師事。帰国後は、関東中心に辛島文雄トリオ、大友義雄カルテット等で活躍。

2007、2015年にはUMK フェニックス Jam Night にも出演して。現在は宮崎を拠点に全国で活動する。

主な共演者は、辛島文雄、川嶋哲郎、納浩一、多田誠司、TOKU、宮本貴奈、小沼ようすけ等。